

腸管出血性大腸菌感染症患者の発生について

1 発生日

発生 令和5年8月28日(月) 速報 令和5年9月7日(木)

2 患者数

1名(女、50代)

3 概要

(1)経過

- 8月28日(月) 患者(岡山市)は、軟便及び腹痛の症状を呈した。
- 9月1日(金) 患者は症状が改善しないため、岡山市内医療機関(診療所)を受診。
- 9月6日(水) 検査の結果、腸管出血性大腸菌(O157)によるペロ毒素産生が確認されたため、岡山市保健所に届出。

(2)その他

- ・患者の症状は消失している。
- ・感染源は不明。
- ・現在のところ散発事例と考えている。

4 参考(患者発生状況)

区分	令和5年1月1日から
岡山市	27人
県内(岡山市を除く。)	44人
県内合計	71人

(岡山市の前年同時期の発生状況:16人)

- ◎報道に関しては、患者等のプライバシーの保護について、特段の配慮をお願いします。
- ◎岡山県は6月23日に県下全域に「腸管出血性大腸菌感染症注意報」を発令しています。
- ※ 腸管出血性大腸菌感染症を予防するために
手洗いの励行。(調理前、食事前、用便後)
十分な加熱。(75℃で1分間以上)
をお願いします。

【問い合わせ先】

岡山市 保健管理課 森・山本 直通086-803-1251 内線5751